

塾生各位

代表 岡 信太郎

小倉北道場だより (第8号)

日ごとに夏らしさを強く感じるようになりました。

4月の昇級審査により赤帯になった少年部の子が増え、道場が活気付いてきました。子どもたちと一緒に稽古をしていると、心なしかみんな逞しくなったように感じます。

一般部は、冬の間の参加者が1人2人の時が多々ありました。最近、皆さん仕事の合間を縫って積極的に参加され、新しい会員の方も加わりました。

これから暑さが厳しい時期となりますので、体調管理に気をつけ稽古に臨んで頂けたら幸いです。

★★ 昇級のお知らせ ★★

今回も多くの方の昇級しました。

初めて審査を受けた方に、昇級を受けてのコメントを頂いております。

賞状は額縁に入れるなどして、大事にして頂いて下さいね。おめでとうございます。

Q1 合気道を始めたきっかけを教えてください。

Q2 昇級しての感想等をお願いします。

少年部

藤田 陽希君 (8歳) 準10級

Q1 陽希のおじいちゃん、叔母が空手をしていたので、武道を習わせたいと思っていました。お友達の紹介で、先生が優しい(笑)と聞いたので決めました。

Q2 帯の色が変わり喜んでいたので、やる気が出たか?と思いましたが、そこはまだまだのようで…青の帯になりたい気持ちはあるみたいなのでがんばってほしいです。



吉住 亮河君 (8歳) 準10級

Q1 武道を習う事によって、心身ともに強く・たくましく成長してくれたらと思い、始めました。

Q2 本番の時、ドキドキして、目が回ったけど、合格して嬉しかったです(本人談)。日ごろの練習の成果が出て、自信につながり良かったです。



水筒等の持参のお願い

湿度の高い時期となり、これから増々暑さが増していきます。

熱中症は室内でも起こります。水筒等を持参して、各自水分補給をして頂くようにお願いします。また、稽古中体調が悪くなった場合は、遠慮なく申し出て休憩を取るようして下さい。



合気道 祥平塾 小倉北道場

暑気払い・歓迎会について

一般部に村上さんが入会されました。歓迎会を兼ね、暑気払いを行います。

日 時 平成28年7月23日(土) 稽古終了後 20:00~

場 所 吉住(小倉北区三萩野)

申込期限 平成28年7月19日(火)

申込方法 代表又は幹事の渡邊さんにお申し出下さい。

*** 代表コラム ***

～坂本龍馬と武道～

突然ですが、坂本龍馬の話をしたと思います。実は、小倉北道場の代表をさせて頂いている私は、北九州龍馬会という会の会長をしています。「龍馬会って何!？」と思われる方もいらっしゃるでしょうが、坂本龍馬を慕う龍馬会という会が全国にあります。HNK 大河ドラマ「龍馬伝」の影響もあって、今では台湾、アメリカ、ブラジルなど海外にもその輪が広がっています。

龍馬会では、幕末を中心とした歴史研究はもちろんのこと、龍馬の考え方や行動方針を学び、地域に貢献しようという趣旨で設立されています。あまり知られていませんが、今では観光スポットになっている高知の坂本龍馬記念館や長崎の龍馬像は、その地域の龍馬会によって造られました。

龍馬と言えば、北辰一刀流の剣の達人だったというのが定説となっています。

北辰一刀流を学ぶため江戸へ剣術修行に行く前は、地元の日根野道場に通っていました。学問が出来なかった龍馬は、この剣術修行や姉の乙女姉さんの指導によってめきめきと力をつけていったという話はあまりに有名な逸話です。

剣術のイメージが強い龍馬ですが、実は合気道に通じる柔術も稽古しています。というのも、当時の道場では、剣術に限らず柔術・馬術・水泳なども教えていたようです。道場というより、総合的な体育の授業だったようです。

龍馬は脱藩してわずか5年で、薩長同盟・海援隊創設・大政奉還などの偉業を成し遂げました。

龍馬が最も信頼し、お龍のことを託した三吉慎蔵は龍馬のことを「何事も温和に物事にあたる人であった。ただし、胆力はすごい」と、その度量の大きさを評価しています。この胆力の一つは、剣術や武術の修行から培われたことは間違いなくと思います。

今回の禅の言葉

「世の人は われを何とも ゆわばい え わがなすことは われのみぞしる」

by 坂本 龍馬

意味: 世間に自分のやっていることが理解されないこともある。時に批判されることもある。しかし、自分の信念に基づいて天下のために行動しているので、自分を信じて歩いていきたい。

今回は、坂本龍馬が詠んだと言われる和歌からとりました。高い志と強い信念があれば、どんな難局にも立ち向かうことができます。但し、世のため人のために行動することが大切です。